

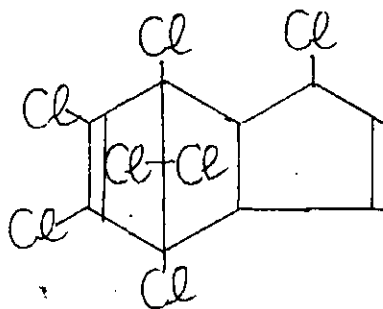
分 解 度 試 験 報 告 書

1 試 料 名 ヘブタクロル

(試料番号 K-640)

分 子 式 $C_{10}H_2Cl_7$ 分 子 量 373.3

構 造 式



同 定 赤外分光光度計 (図-5 参照)

性 状

外 観 黄白色の結晶

融 点 91 ~ 92 °C

純 度 98% 以上 ([REDACTED] 用試薬使用)

溶 解 性

対 水 1.3 ppm 以下 (G.O. による)

対 クロロホルム, メタノール, ヘキサン

ジクロルメタン, テトラヒドロフラン 10000 ppm 以上

2 試 験 期 間 昭和56年9月24日 ~ 昭和56年11月4日

3 試験方法及び条件

環 保 業 第 5 号	} 微生物等による化学物質の分解度試験による
業 発 第 615号	
49 基 局 第 392号	

3.1 試験条件

(a) 生分解試験条件

(1) 微 生 物 源：標準活性汚泥 30ppm

(2) 供試物質濃度：100ppm

(3) 試 験 期 間：28日間

(b) 試験装置

閉鎖系酸素消費量測定装置 標準型

(c) 試料の採取

供試物質は固体のため天秤で30.0mg精秤し各培養ビンに添加した

(d) BOD測定装置へのセット状況

	状 況	pH
仕 込 時	—	—
終 了 時	水系 汚泥系とも試料の残存が認められた	—

3.2 直接定量分析

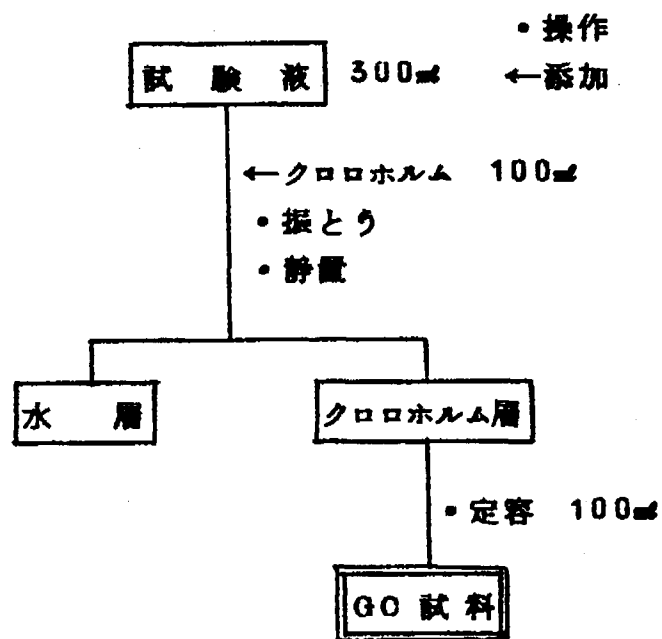
(a) 使用分析機器及び条件

ガスクロマトグラフ

型 式 日 立 163

検出器	FID
カラム	3 mm ϕ \times 1 m ガラス
固定相	
液相	5% PEG-HT
担体	クロモソルブW
カラム温度	200 $^{\circ}$ C
キャリアガス	N ₂

(b) 分析試料の前処理



4. 試験結果

	分解度(%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	0	1	
GO による 結 果	4	2	1

7 日目のアニリンの分解度 63 %

以 上